

令和7年8月25日

中部地方整備局

人ごとじゃない！災害に備えよう

～イオンモール ナゴヤドーム前で夏のイベントを開催～

8月31日（日）にイオンモールナゴヤドーム前主催で「防災車両フェスタ」が開催されます。中部地方整備局では、屋外で照明車などの災害対策用機械を展示します。また屋内サウスコートではVRでの浸水体験、ペットボトル防災実験、大雨予想時の緊急記者会見ブースでの写真撮影などの体験、各種パネル展など、楽しみながら防災知識を深めるとともに、我々中部地方整備局の取組を知っていただくイベントを行います。

1. 日時・場所・内容

日 時 : 令和7年8月31日(日) 11時00分～16時00分

場 所 : イオンモール ナゴヤドーム前 【名古屋市東区矢田南四丁目 102番3号】
1F平面駐車場、館内（1F サウスコート）

内 容 : <1F平面駐車場>（中部技術事務所による開催）

- ・中部技術事務所が保有する災害対策用機械（対策本部車・照明車）の展示及び操作体験

<館内（1Fサウスコート）>（（一社）地域づくり協会と共同で開催）

- ・浸水体感VRで浸水被害を疑似体験
- ・楽しく学ぶペットボトル防災実験
- ・伊勢湾台風A I 語り部との対話体験
- ・緊急記者会見ブースでの写真撮影
- ・人気ゲームのキャラクターで学ぶ避難行動動画上映
- ・庄内川河川事務所による東海豪雨25年のパネル展
- ・中部地方整備局、中部地域づくり協会の事業紹介パネル など

2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ

3. 取材について

取材を希望される場合は、以下のフォームスに入力してください。

なお入力期限は8/29（金）12:00です。

受付フォームアドレス : <https://forms.office.com/r/01k3qU8NKd>



受付用フォームQR

4. その他

天候状況により、中止する場合があります。中止の場合は整備局公式Xでお知らせいたします。

公式X URL https://twitter.com/mlit_chubu_koho



公式X QR

5. 問合せ先

（屋内会場）中部地方整備局 企画部 企画課長補佐 寶 久

TEL : 052-953-8127 Mail : cbr-kikaku@mlit.go.jp

（屋外会場）中部地方整備局 中部技術事務所 副所長 鈴木 孝之

TEL : 052-723-5701 Mail : cbr-soudan@mlit.go.jp

保有機械一覧

【排水ポンプ車】



30m³/min級



60m³/min級、高揚程型

台風や豪雨などによる浸水被害を最小限に防ぐため排水作業を行う車両です。排水作業に必要な水中ポンプ・ホース・発電機を備えています。

【対策本部車】 ※展示予定



拡幅型

災害現場の最前線において、情報収集や応急対策の検討、現場指揮を行う現地対策本部となる車両です。拡幅すると約13畳の広さになります。

【照明車】 ※展示予定



10m級



20m級

夜間や悪天候時に安全に作業できるよう現場を明るく照らすことができる車両です。

【待機支援車】



小型4床式

災害現場で活動する作業員の休憩場所として使用する車両です。仮眠用のベッドを4人分備えています。

【衛星通信車】



車載式

日本国内ならどこからでも衛星を通じて画像や音声を伝送することができます。災害現場の情報をリアルタイムに把握することに活用されています。

【無人化施工バックホウ】



1.0m³ 分解型

大雨や地震による土砂災害現場で、遠隔操作により復旧作業を行うことができます。また、13分分割して空輸することもできます。

【簡易遠隔操縦装置】



ロボQS

既存のバックホウを改造することなく現場でそのまま簡単に取り付けして、専用の操作用無線機で遠隔操縦することができます。

【応急組立橋】



上路ワーレントラス式

被災した橋に代わって短期間で緊急的に架設できる組立式の橋です。20トンまでの荷重に耐え、支間長16～40mまで2mピッチで任意の長さで架設できます。

【投下型水位計】



圧力式

崩落した土砂で河川が堰き止められた場合などに水位を観測するための機械です。ヘリコプターから投下することができ、衛星通信により位置と水位を監視します。

※本フェスタでは、対策本部車及び照明車（10m級）の展示を予定しています。ただし、展示車両が変更になる場合があります。